

試験法 112	φ150法による土の凍上試験 (試験結果)
---------	-----------------------

調査件名 SYSTEM21 最高級プロフェッショナル土質調査解析ソフト
 長年の実績で信頼と安定したソフトを実現

試験年月日 2019年10月11日

試料番号 S1-1 (3.00m~3.70m) 試験者 田中 誠二

ランマー質量	4.5kg	落下高さ	45cm	突固め回数	42回/3層
安定処理の有無	無処理 安定処理 (安定材 セメント , 添加量 15 %)				

凍上試験後の状態	供試体 No.		1 (27)		2 (28)		3 (29)		
	① (湿潤土+モールド+カラー+有孔底板)質量 g			6331		6329		6311	
② (モールド+カラー+有孔底板)質量 g			1898		1801		1868		
③ 湿潤土質量 (①-②) g			4433		4528		4443		
容器	No.		T-1		T-2		T-3		
	④ 質量 g			1265		1240		1235	
⑤ (乾燥土+容器)質量 g			4688		4565		4521		
⑥ 乾燥土質量 (⑤-④) g			3423		3325		3286		
⑦ 水の質量=(湿潤土-乾燥土)質量 (③-⑥) g			1010		1203		1157		
⑧ 含水比 $w_2 = (⑦/⑥ \times 100)$ %			29.5		36.2		35.2		
凍上量	供試体高さ mm	A	B	138.1	137.8	141.6	141.1	138.6	137.4
		C	D	138.5	138.8	140.3	140.9	139.1	140.2
⑨ 平均高さ $h_2 = ((A+B+C+D)/4)$ mm			138.3		141.0		138.8		
⑩ 平均凍上量 (⑨- h_1) ^{注1)} mm			9.9		11.3		10.3		
⑪ 凍上率 (⑩/ $h_1 \times 100$) %			7.7		8.7		8.0		
⑫ 見掛けの凍結深度 ^{注2)} mm			76.4		70.7		72.5		
⑬ 見掛けの凍結深度に対する凍上率=(⑩/⑫ $\times 100$) %			13.0		16.0		14.2		
凍結様式 ^{注3)}			⑤		⑤		⑤		
融解後の状態	⑭ (湿潤土+モールド+カラー+有孔底板)質量 g		6321		6264		6261		
	⑮ 湿潤土質量 (⑭-②) g		4423		4463		4393		
	供試体高さ mm	A	B	133.1	133.8	136.7	135.0	134.4	134.0
		C	D	133.5	134.8	134.1	135.6	134.8	135.7
⑯ 平均高さ $h_3 = ((A+B+C+D)/4)$ mm			133.8		135.4		134.7		
⑰ 水の質量 (⑮-⑥) g			1000		1138		1107		
⑱ 含水比 $w_3 = (⑰/⑥ \times 100)$ %			29.2		34.2		33.7		

特記事項 注1) h_1 : 水浸膨張後の供試体平均高さ(mm)

注2) 見掛けの凍結深度とは、凍上前の供試体上面位置から凍結面までの深度をいう。

注3) 凍結様式

番号	1	2	3	4	5
様式	コンクリート状凍結	微細霜降状を含むコンクリート状凍結	微細霜降状凍結	霜降状凍結	霜降状凍結
形状					
説明	結晶がまったく認められない。	一部に氷晶がこまかく入っている。	氷晶が非常にこまかく切れぎれに入っている。	1~2mm厚程度の氷晶が入っている。	純霜柱の発達したもの。

φ150法による土の凍上試験(試験結果) __特記事項1

φ150法による土の凍上試験(試験結果) __特記事項2